



# 支援が引き起こす影響と調査

ADYF(アジア開発学生会議)

本嶋孔太郎 石井沙知香

## 支援という介入が引き起こす影響

- **良い影響**

- 真似をする、人々の意識が変わる、女性・子供の地位向上 etc.

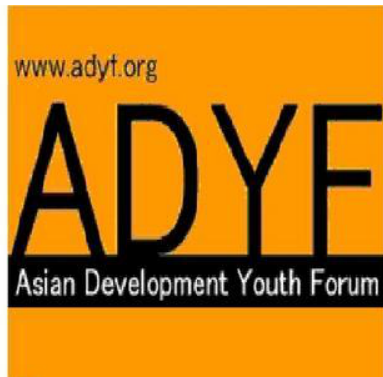
- **悪い影響**

- 社会システムなどの破壊、既得権・時間・労力などの奪取、考えが変化することによる悪影響、妬みが発生することによる悪影響(人間関係の変化など)

今回は「悪い影響」について



A D Y F (エイディフ)  
Asian Development Youth  
Forum  
**アジア開発学生会議**



アジアの国の開発問題を、国内調査と  
現地フィールドワークでリサーチすると  
同時に、“知ること”の大切さを伝えている  
学生団体

今回はカンボジアで、「支援  
が引き起こす妬み」について調  
査・考察

## この発表の目的

- ⦿ 支援の効果だけでなく、悪影響にも注目するきっかけになること
- ⦿ 支援が引き起こす悪影響(特に妬み)を予測し、対処する手段としての調査の必要性を感じてもらうこと
- ⦿ 調査の際、気をつけるべきことを知ってもらうこと

## index

- Bad Influences caused by Supporting
- Mechanism of Envy
- What to Research
- How to Research
- ワークショップ！





Bad Influences caused by Supporting

# 支援という介入が引き起こす悪影響

## 悪い影響

- 社会システムなどの破壊
- 既得権・時間・労力などの奪取
- 考えが変化することによる問題発生
- 妬みが発生することによる問題発生(人間関係の破壊など)

## 悪い影響 ～奪われる・壊される～

### ▫下水道事業(NGO)

→固形排出物回収業者が失職、  
伝統的循環システムが壊された

### ▫男性に対する物資・土地・金融の供(NGO)

→女性が得られるはずの利益が奪われた

★対象(人・物)に関連するシステムを把握しておく必要性



## 悪い影響

### ～妬みが発生～

- ④ 識字教育・職業訓練(NGO)

→ 支援を受けられず妬みを抱いた住民がNGOの事務所襲撃。

- ④ 道路整備技術支援(JICA)

→ 支援を受けず仕事を貰えなかった住民がコミュニティが崩壊。

- ④ 教育支援(学生団体)

→ 現地パートナーの権力が向上し、元々いた権力者と対立。  
村が分裂の危機に。

- ④ 水道建設支援(NGO)

→ 妬みは発生したものの、悪影響はなかった。

★ 妬みが発生するかどうか、

発生した場合は問題に繋がるかどうかを把握しておく必要性

## 妬みに着目

### ▶ 時間・お金・人材に限りがある

→支援を十分に受けられる人と十分に受けられない人が存在し、受けられない人は多かれ少なかれ必然的に妬みを抱く

→どの場面でも生じうる妬みに着目

※間接的な支援にとどまっても、コミュニティに組み込まれている人には妬みの発生や問題発生に気付けない可能性がある。

→外部から少しでも介入する場合、外部が調査して支援のやり方を考える必要性と、関わるものとしての責任がある。

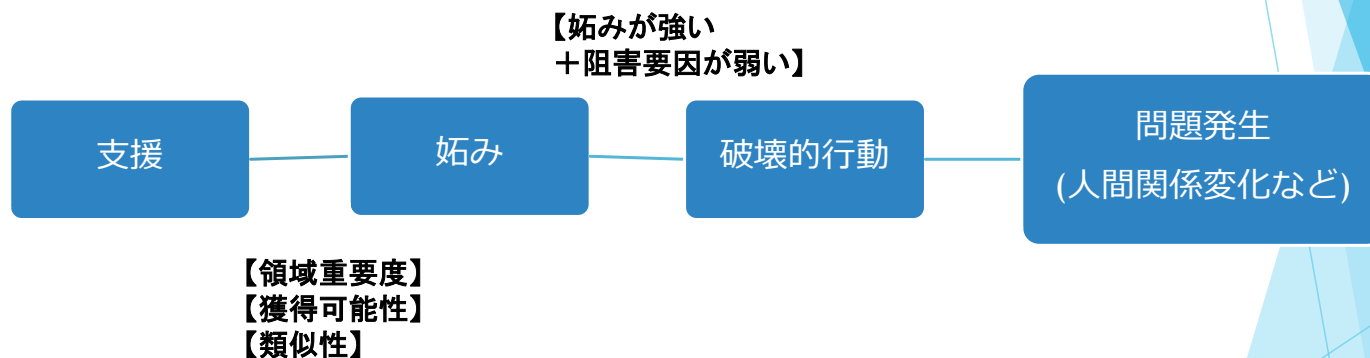


## Mechanism of Envy

そもそも仕組みを知らないと対処できない

# 妬みが発生し、 悪い影響をもたらす仕組み

※【基準】を満たしたとき、妬みや破壊的行動が発生する



## 妬みの発生原因

### ① 支援者とnot支援者の近さ(類似性)

能力や態度などで、自分と比較される他者との類似度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 地位、経歴、職業、家族構成、資産

### ② 支援の重要度(領域重要度)

ある領域の自分にとっての重要度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) ある地域で生きる上で必要・大切とされる優先順位が高いもの  
日本なら、親にとっての教育

### ③ 支援の獲得可能性

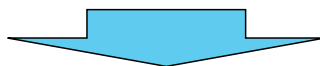
相手との差が少ないがために、自分も相手のような望ましい状態になれるだろう・獲得できると見込む認知の度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 自分も他の人と同等の支援を受けられるだろう

※3つの基準がわかりにくいときは、受けられなかった支援を”諦められない”  
場合妬みを抱く、と考えるとよい！

## 破壊的行動の発生原因

妬みが強く、阻害要因が弱い時  
破壊的行動が生じる



阻害要因...元々の人間関係、恩返しの仕組み、社会的地位、  
行動の影響力、行動・反抗することへの諦め etc.

ちなみに、紹介したケースにあてはめると...

↳ **識字教育・職業訓練(NGO)**

→ 支援を受けられず妬みを抱いた住民がNGOの事務所襲撃。

↳ **道路整備技術支援(JICA)**

→ 支援を受けず仕事を貰えなかった住民がコミュニティが崩壊。

↳ **教育支援(学生団体)**

→ 現地パートナーの権力が向上し、元々いた権力者と対立。  
村が分裂の危機に。

↳ **水道建設支援(NGO)**

→ 妬みは発生したものの、悪影響はなかった。



# What to Research



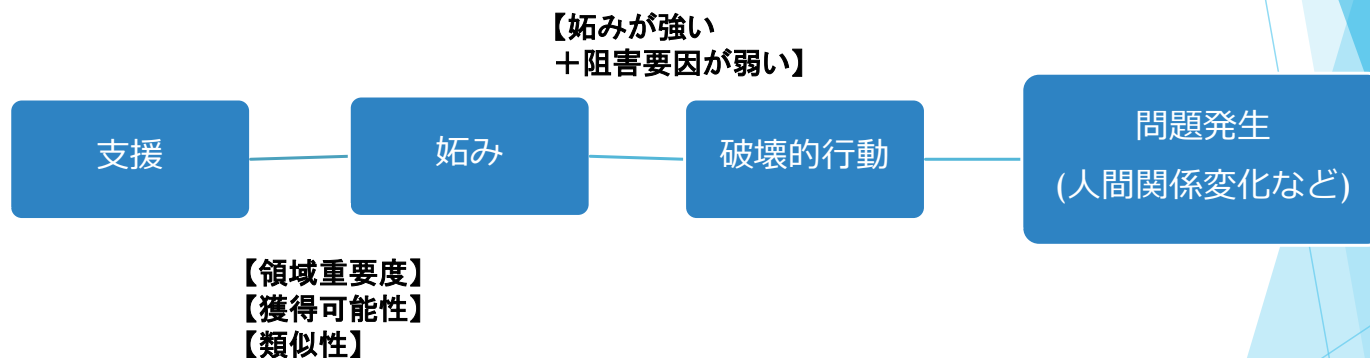


- 具体的に、妬みの発生を防ぐ、もしくは人間関係を破壊するような行動(破壊的行動)を防ぐために何をしたらいいのか？



# 妬みが発生し、 悪い影響をもたらす仕組みから考えると？

※【基準】を満たしたとき、妬みや破壊的行動が発生する



→妬みの発生原因や阻害要因を考慮することで、妬みが発生しない支援や、妬みが発生しても破壊的行動が起こらない支援をすることが可能になりうる！  
考慮するためには調査が必要

## 妬みの発生原因

### ① 支援者とnot支援者の近さ(類似性)

能力や態度などで、自分と比較される他者との類似度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 地位、経歴、職業、家族構成、資産

### ② 支援の重要度(領域重要度)

ある領域の自分にとっての重要度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) ある地域で生きる上で必要・大切とされる優先順位が高いもの

日本なら、親にとっての教育

### ③ 支援の獲得可能性

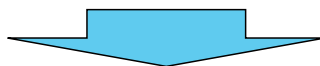
相手との差が少ないがために、自分も相手のような望ましい状態になれるだろう・獲得できると見込む認知の度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 自分も他の人と同等の支援を受けられるだろう

支援するもの、支援対象予定者とそうでない人の関係の類似性・領域重要度・獲得可能性を調べる

## 破壊的行動の発生原因

妬みが強く、阻害要因が弱い時  
破壊的行動が生じる



阻害要因...元々の強い人間関係、恩返しの仕組み、  
行動の影響力、行動・反抗することへの諦めがない etc.

対象地域・対象者に破壊的行動を阻害する要因が  
あるかを調べる

## 何を調査すればよいか

### ④類似性、領域重要度、獲得可能性について

その人にとって何が”大切”か

どういう場合に諦めるか(誰が何を支援された時諦めるか)

どのような人間関係があるか

### ④破壊的行動を阻害する要因について

セーフティネットの有無(関係性が強いかわ弱い)

恩返しの仕組み

誰に対して、”反抗しても無駄”だと諦めが生じるか



# How to Research



## どう調査すればよいか

- 本心・真実を聞く
- 相手の負担を考える
- 他の人に頼る



## どう調査すればよいか 本心・真実を聞く

### 発言をそのまま受け取らない

▫ 相手が本心・真実を言っているとは限らない

### 発言の背景を考える

発言には意図・理由がある

支援者と被支援者－支援を獲得するための回答を行いやすい

調査者と被調査者－調査者の望む回答を行いやすい



## どう調査すればよいか 本心・真実を聞く

### 本心・真実を話してもらえよう工夫する

#### ▫ 考えではなく、事実を聞く

例: 井戸を作る支援のニーズ調査の場合

考えを聞く質問「いつもどこで水を手に入れていますか」「水を手に入れるのは大変ですか」「井戸がほしいですか」

事実を聞く質問「この水はどこで手に入れましたか」

#### ▫ 本心・真実を話しやすい雰囲気を作る

▫ 仲良くなる

▫ インタビューのような形式ではなく、自然な会話の中で聞く

▫ お礼を渡す

## どう調査すればよいか 相手の負担を考える

### 教えてもらっているという意識をもつ

- 調査のために時間を割いてもらっている

### 相手の負担を減らす

- お礼を渡す
- 調査という雰囲気を出さず、相手にとって楽しい・有意義な会話となるように心がける



## どう調査すればよいか ほかの人に頼る

### ▫ 本を読む

#### ▫ 調査のやり方の本

e.g.) 『調査されるという迷惑』

『途上国の人々との話し方－国際協力メタファシリテーションの手法』

#### ▫ 他の事例が書いてある本

### ▫ 教授・NGO・JICA・国際機関の方々に聞く

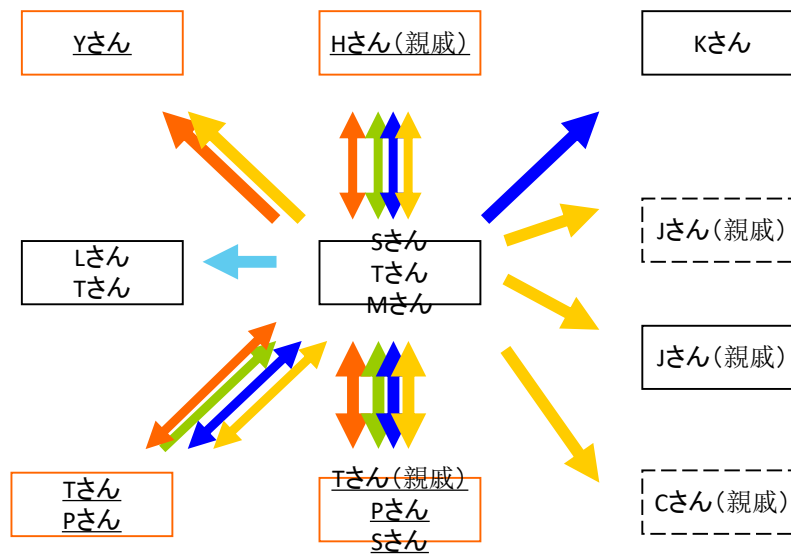
#### ▫ 調査方法・事例など

## どういう手順で聞いていくといいか？ ～ADYFの場合～(参考)

- ①1, 2人を対象に人間関係・セーフティネットについて詳しく聞き、どのようなセーフティネットが対象とする農村で重要か聞く
- ②村の権力者に、村の状況、歴史、出来事、権力関係を聞く
- ③マップを作りながら、各家庭に重要なセーフティネット(ADYFのサーチでは、食べ物・病気・お金が大事だと認定した) + 恩返しについて聞く
- ④どういうものを重視しているか(選択肢を予め用意しておく)、重視しているものをどういう人が得たものだったら諦められるか・どういう状況だったら諦められるかについて聞く

※権力関係や社会システム、“大切なもの”を直接質問で把握するのは難しい...  
発言の背景、事実質問、生活していく中で探っていくしかない

# セーフティネット調査の結果 一例



赤:食べ物の共有 緑:病気の時助ける 青:お金の貸し借り 橙:家の建築



## まとめ

- ⦿ 支援は悪影響を引き起こすことがある
- ⦿ 妬みによる悪影響を回避するためには、妬みの発生原因と破壊的行動の阻害要因の調査をすることが重要
- ⦿ 調査の内容・方法には十分に気を配る

## 参考文献

- Grahn, Hanna. "In the Search of Trust-A Study on the Origin of Social Capital in Cambodia from an Institutional Perspective." (2006).
- Inada, Juichi. "Analysis of the Survey on Social Capital in Cambodia." *Senshu Social Capital Review* (2013).
- Karlan, Dean S., and Jacob Appel. *More than good intentions: How a new economics is helping to solve global poverty*. New York: Dutton, 2011.
- Schein, Edger H. *人を助けるとはどういうことか*. 金井壽宏, 金井真弓, 訳. 英治出版, 2009.
- 稲田十一. *カンボジアにおける近代化と社会関係資本の変容*. *社会関係資本研究論集*, 2013, 4: 133-165.
- 岡田千あき. *カンボジアの現代コミュニティに関する一考察*. 2010.
- 荻野恒一. *嫉妬の構造*. 紀伊国屋書店, 1983.
- 郭洋春. "開発から脱開発の時代へ." *脱「開発」へのサブシステム論—環境を平和学する 2* (2004).
- 宮本常一, and 安溪遊地. "調査されるという迷惑—フィールドに出る前に読んでおく本." (2008).
- 原奈津子. "妬みの対処方略と個人内要因との関連について." *就実論叢 = The research bulletin of Shujitsu University and Shujitsu Junior College* 43 (2013): 127-138.
- 荒木徹也, and 井上真. *フィールドワークからの国際協力*. 昭和堂, 2009.
- 佐藤郁也. *フィールドワークの技法: 問いを育てる, 仮説をきたえる*. 新曜社 (2002).
- 佐藤寛, and 浜本篤史. *開発社会学を学ぶための60冊 援助と発展を根本から考えよう*. 明石書店, 2015.

## 参考文献

- u 佐藤寛. "ソーシャル・キャピタルと国際協力—持続する成果を目指して." 国際協力事業団・国際協力総合研修所, 2002.
- u 佐藤寛. "援助にともなうスポイルとジェラシ." 国際開発研究 4 (1995): 9-16.
- u 佐藤寛. 援助とエンパワーメント. 2005. 佐藤寛. 援助の社会的影響. へのアプローチ」佐藤寛編『援助の社会的影響』アジア経済研究所, 1994, 17-36.
- u 佐藤寛. 援助と社会関係資本. 日本貿易振興会アジア経済研究所 2011 年, 2001.
- u 佐藤寛編 援助の社会的影響 アジア経済研究所, 1994
- u 佐藤奈穂. カンボジア農村における子の世帯間移動の互助機能. 2009.
- u 佐藤奈穂. カンボジア農村における死別・離別女性の研究-親族ネットワークと生計維持戦略. 2010.
- u 佐藤奈穂. 農村における女性世帯に対する親族と共同体の役割: カンボジア シェムリアップ州 タートック村を事例として. 龍谷大学経済学論集, 2004, 43.5: 53-72.
- u 三輪加奈. カンボジア農村における子供の成長へのリスク・ブーリングと社会的ネットワークの役割. 農林業問題研究, 2011, 47.1: 29-34.
- u 真崎克彦. 支援・発想転換・NGO: 国際協力の「裏舞台」から. 新評論, 2010.
- u 神原理. "ソーシャル・キャピタルの質的調査法." 社会関係資本研究論集 2 (2011): 81-100.
- u 水野正己; 佐藤寛. 開発と農村. アジア経済研究所, 2008.



## 参考文献

- 西村一郎. 協同の実践 援助から共生へ--シヤプラニール= 市民による海外協力の会の取り組み. (財) 生協総合研究所生活協同組合研究, 2004, 336: 49-54.
- 石川実. 嫉妬と羨望の社会学. 世界思想社, 2009.
- 浅野史代. ねたみの構造と支援の関係. 日本文化人類学会研究大会発表要旨集, 2011, 2011.0: 21-21. 開発援助とバンラデシュ. アジア経済研究所, 1998.
- 村上俊介. "ベトナム, カンボジア, ラオスにおける社会関係資本." 社会関係資本研究論集 4 (2013): 43-87.
- 内藤直樹, and 山北輝裕. 社会的包摂/排除の人類学. 昭和堂, 2014.
- 福井清一; 三輪加奈. カンボジア農村における家計のリスク対応. 農林業問題研究, 2012, 48.1: 1-12.
- 鈴木春子. カンボジアの有配偶女性世帯主世帯. 現代女性とキャリア: 日本女子大学現代女性キャリア研究所紀要: ri-wac journal, 2012, 4: 137-149.
- 和田信明・中田豊一. 途上国の人々との話し方: 国際協力メタファシリテーションの手法. みずのわ出版, (2010).
- 大橋明. "あきらめに関する心理学的考察: その意味と概念について." 中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要 9 (2008): 23-34.
- 澤田匡人. 子どもの妬み感情とその対処: 感情心理学からのアプローチ. 新曜社, 2006.



## ワークショップ！！

- ① どのような妬みが生じるうるかな？
- ② どうしたら問題を発生させないようにできるかな？
- ③ 何をどう調査すればいいのかな？

# 対象地

ダビデ島ファラオ村 人口は4千人で1日1ドル以下で暮らす人が人口の7割、労働者の8割が農業か食料品の販売を行っている。それ以外に医者、先生、役人、大工、衣類を作る人、工作物を作る人などがいる。

村には複数の部族が分かれて生活しており、それぞれの部族の社会システム(伝統やS C)、価値観は異なっている。(恩恵を再分配する伝統がある部族や、上下関係が厳しい部族等があるらしい。)

部族間での所得の差や教育レベルの差はないが、部族内では差が著しい。

一方、村全体の社会システム(ある一部族の長が村全体の物事をよく決める)や価値観(平等志向)が存在し、公民館などの公共施設は村の共有物になっている。

# プロジェクト

## 目的:

お金(20万),人(5人),時間(1か月×2)が限られている中で、問題を最小限に抑えながら、女性に対する職業訓練を行う。

## 概要:

- 裁縫に関する職業訓練
- NGOスタッフは5人、ミシンは5台あり、寄贈予定
- 訓練に参加してもらうため昼ご飯を調達して出す予定
- セミナー終了後もミシンや学んだことを有効活用してもらうよう、リーダーを選んで管理を任せる予定
- 実施場所は共有物である公民館
- 対象の選び方は未定

## ①妬みが発生しそうなポイントをブレスト!

誰が誰に妬みを抱きうるだろうか? ブレストしてみよう。

※ブレストとは?ブレインストーミングの略で、まず個人が思いつくだけの答えをポストイット等に書き出し、その後班で共有しながらグルーピング(まとめ)をする。共有は手短に、かつ共有者を批判しないこと!

3分: 個人で考える  
→2分: 共有+まとめる

## 実際の例では？

- 訓練を受けられない人が妬みを抱く
- 男性が女性に妬みを抱く
- 訓練を受けられない部族が妬みを抱く
- ミシンを貰えない人が妬みを抱く
- リーダーに選ばれなかった人が妬みを抱く
- 昼食用の食材等を買ってもらえなかった人が妬みを抱く

※ある部族だけが公民館を使っていた場合、別の部族がそれが奪われたと感じて、嫉妬する例

例 今まで衣服を作っていた人が特権が奪われたと感じ、嫉妬する例

例 男性が女性、地主が小作人を奪われたと感じ、嫉妬する例

## ②問題が生じない方法（仮説）

次のスライドも参考に、想定した妬みが生じにくい or  
妬みが生じてても問題が発生しづらい方法を考えてみよう。

- (a) どういう人(部族、職業、所得、地位etc.)を対象に  
(b) どのような方法でプロジェクトを実行するとよいか  
(仮説) ※直接支援をしない人のことも考える

4分：個人で考える

➡3分：共有

➡6分：グループディスカッション

➡3分：全体で共有(理由→a→bの順で話す)

# ☆妬みが発生しづらい

**=類似性、領域重要度、獲得可能性が低い**  
支援者とnot支援者の近さ(類似性)

能力や態度などで、自分と比較される他者との類似度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 地位、経歴、職業、家族構成、資産

**支援の重要度(領域重要度)**

ある領域の自分にとっての重要度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) ある地域で生きる上で必要・大切とされる優先順位が高いもの  
日本なら、親にとっての教育

**支援の獲得可能性**

相手との差が少ないがために、自分も相手のような望ましい状態になれるだろう・獲得できるだろうと見込む認知の度合い。高いと妬みが喚起されやすい。

例) 自分も他の人と同等の支援を受けられるだろう

※3つの基準がわかりにくいときは、受けられなかった支援を”諦められない”  
場合妬みを抱く、と考えるとよい!





☆妬みが生じてても問題が発生しづらい  
＝妬みが弱いor阻害要因が強い

### 阻害要因

元々の強い人間関係、恩恵の再分配の仕組み、社会的地位、妬みを抱いた者の行動の影響力が低いこと、行動・反抗することへの諦め

### ③何を調査すればいいのだろうか

②で考えた方法(仮説)が、本当に対象地で”妬みを生じさせないor妬みを生じさせても問題を発生させない”ということを証明するには、何を調査・検証すればいいのだろうか？

前半の発表を参考に調査すべきことをあげよう

(※妬みが発生する要因、阻害要因が存在するかを主に調査するのでそれを具体化しよう)

4分：個人で考える

→2分：共有+整理

→3分：全体で共有

## ③'どう調査すればいいのだろう

③であげた調査・検証事項について、誰に,どのようなことを,どのような手段で聞くか

これは、ぜひ、団体で考えてみてください！

### ★お薦めのリサーチ本

『途上国の人々との話し方—国際協力メタファシリテーションの手法—』(和田)

『最底辺のポートフォリオ』(ジョナサンその他)

『フィールドワークの技法』(佐藤)

## ④ 調査結果を元に支援内容を再考

実際の支援では、③で考えた調査を行った後、再度どのようなプロジェクトを行うかを再考し、実施という形になります。

# 最後に

今回は支援や妬みによって生じる問題の一部を切り取って考えてもらいました。

実際はもっと複雑で、どうにかしようとするのが難しいこともあるかもしれませんが、団体の中でも妬みや生じる問題、他の悪影響を考慮した支援づくりを考えてみてください！

困った場合は

[Ktz.baseball.gintama@gmail.com](mailto:Ktz.baseball.gintama@gmail.com) 本嶋宛

[andyfey@gmail.com](mailto:andyfey@gmail.com) ADYF宛

参考文献

関根久雄."実践と感情 開発人類学の新展開."春風社.2015